

質問 町の介護事業所から介護報酬の地域区分における人件費の上乗せ割合が近隣より低く、人材確保が困難で運営が厳しいとの声を聴く。平成30年度介護報酬改定による地域差を調整するため地域区

分の見直しがあったが、介護人材の確保が喫緊の課題であるとの要望を受けている。私は、町長就任以来、国に対し、近隣との格差是正を強く要望してきた。また、厚生労働省の副大臣や局長、担当職員に介護の質を維持するために地域区分の格差解消を訴えてきた。令和3年度からの第8期介護保険事業計画に向けて、町内介護事業所とも連携して引き続き改善に向けた行動をしていく。

山崎 栄 議員（自民新国会）

将来、より良い介護サービスを受けるための町の介護施設の現状と今後の対策は



町長 介護報酬の地域区分の格差是正に向けて行動



町内の特別養護老人ホーム



原 隆夫 議員（公明党）

障がい者（児）支援の環境整備等の充実を



町長 諸施策の推進を図っていく

労移行や就労継続支援らに、発達障害について関係機関と連携し実施している。また、新たな事業として、認知症高齢者や障がいのある方が、地域に沿った生活が送れるよう権利擁護センターを立ち上げるところである。さ

質問 町は平成30年3月に「瑞穂町障害者計画・第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画」を策定した。障害福祉サービス、障害児通所支援、相談支援及び地域生活支援事業の提供体制の確保等、障がいのある方の生活状況に応じた切れ目のない適切な支援を図る施策の方向性を示すものとしている。町は、障がい者や家族が望むサービス確保や質の向上を図るための環境整備等をどのように進めているのか、町長の所見を伺う。



6月に行われた「ふれあい運動会」（長岡コミュニティセンター）

榎本 義輝 議員（自民クラブ）

コミュニティバスの運行を



町長 公共交通の在り方について 今年度検討に着手

質問 我が町の交通事情は、数多くの問題を抱えており、その中でも地域格差は最重要課題のひとつである。また、高齢化に伴い車の運転もままならない等深刻な問題も増大している。そうした中、早急に現在運行している福祉バスをだれでも乗れるコミュニティバスへと転換させ、地域格差の是正に努めるべきであると思うが、所見を伺う。

また、「誰でも乗れる町民バスの実現をめざす会」の活動にも着目すべきである。

町長 町が運行主体となる公共交通の在り方は、地域オーダーメイドの視点を入れて検討すべきと考えている。既に平成30年度、公共交通に関する意向調査を終え、今年度検討に着手する。その際には、コミュニティバスにどのようなサービスを提供するか、また、路線の選定や料金、乗降の手続きなどについて、町長の所見を伺う。

また、「誰でも乗れる町民バスの実現をめざす会」の活動にも着目すべきである。



箱根ヶ崎駅西口を出発した福祉バス

こんな質問もありました

箱根ヶ崎駅の駅員不在時間帯への対応は

町長 JRに再考を強く申し入れた。運用改善を求めていく。

東京オリ・パラの対応は

町長 組織委員会や都などと連携・協力して成功に導きたい。

質問 近年、児童・生徒の心身の健康課題が深刻かつ多様になってきていると言われている。学校では学習だけでなく各種健康診断等を実施するとともに保護者からの情報も得ている。心、疾病、痩身や低身長など発育等に

気がかりのある児童・生徒に対し、保護者や教職員、関係機関等とどのように情報を共有し、対応しているのか。多様化・複雑化する児童・生徒の現代的な健康課題に対し、心身共に健康な生活を送るための取り組みを問う。

教育長 在学中の児童・生徒の心と体の健康状態については、学校の養護教諭や特別支援教育コーディネーターらに、発達障害については、保護者に医療機関への受診や教育相談室での相談・検査を勧奨し、必要な支援や配慮を決定していく。

下野 義子 議員（公明党）

児童・生徒が心身共に健康な生活を送るための取り組みを問う



教育長 必要な支援や配慮を決定していく



教育相談室（スカイホール横）